

Weekly



●2022-23年度国際ロータリー テーマ
RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

イマジン ロータリー

Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2022-23 No.11 令和5年1月13日

●会長標語 会長 関 和之 輪を広げ 未来につながる奉仕を

今週のプログラム

- 第2713回(1/13)
- 会場 京王プラザホテル八王子

新春初例会

- *年男お祝い *三祝
- *新春の舞い 八王子芸妓衆

次回のプログラム

- 第2714回(1/20)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*八王子指定文化財芸能団体協議会

- 会長 山下正男氏
- 「八王子の獅子舞と恩方の歴史」



東京八王子西ロータリークラブ
会長 関 和之

本年もよろしく
お願い申し上げます
謹賀新年

輪を広げ

未来につながる奉仕を

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様およびご家族のあたたかいご理解とご協力のもと、このウィズコロナの中においても、滞りなく上半期のクラブ運営を進行する事が出来ました。改めて御礼申し上げます。

半年を振り返れば、7月には2名の会員の増強から始まり、以降毎月入会式を行う事ができ1月には9名の増強となります。そして四大奉仕活動のうち、まず八王子市を通して八王子地区のフードバンクへお米を寄付させて頂き、また、地域貢献の一環として武蔵陵参道の清掃活動、さらに八王子ロータリーアクトクラブへの支援を行ってまいりました。そして多摩南グループのIM、何回も現調に行った親睦旅行、そして100名を超える参加者があつた年忘れ家族例会と、様々な卓話の例会など、本当にありがとうございました。そして、下期には、地区大会、ロータリー財団の地区補助金を使ったタイ王国への浄水器の設置プロジェクト、PBG50周年事業、国際大会など、さらに観桜・移動例会等、盛りだくさんの行事があります。会員皆様のご協力のもと、皆様と共に「輪を広げ 未来につながる奉仕を」これを実践できます様、努力してまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年も良き一年となりますよう、会員の皆様、ご家族様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。

卓話 「経済社会の潮流」

2022年12月16日（金）

元リソナホールディングス社長
川田憲治氏

世界の動き

マネジメントスクールにて、良く教えられているPEST分析があります。政治・経済・社会・テクノロジの分析です。これに江戸時代の廻船問屋のことわざである「虫の目、鳥の目、魚の目」私はこれに付け加えて、「心の目」を入れていきます。「虫の目」は、複眼です。つまり「近づいて」さまざまな角度から物事を見るということです。「鳥の目」とは、高い位置から「俯瞰的に全体を見回して」見るということです。「魚の目」とは、潮の流れや干潮満潮という「流れ」を見失うなどという意味です。「心の目」とは、虫の目、鳥の目、魚の目で観察した事実を心の目で検証するということです。これが社会の潮流を読み解く秘訣です。

コロナ禍の話

コロナ禍もWITH CORONAへと変遷していく中で日常を

りもどしつづつありますが、感染症の歴史からは、感染症が収まるには、最低でも3年かかります。人類2万年の歴史、ウイルスは30億年この地球上で生き続けています。ウイルスから見れば、我々人類は地球の新参者です。コロナ禍が起きた2020年当初、私は、コロナ禍の三つの危機を予想しました。一つはコロナ禍による命の危機、二つ目は、人流抑制による経済活動の停滞による経済の危機、三つ目は、人流抑制による心の危機です。ウイルスによる命の危機に続き、経済は世界が人流を制限すればするほど、停滞しダウンサイドルリスクが止まりません。さらに人流制限は「ヒト」と「ヒト」のコミュニケーションの危機、触れ合いの危機を引き起こし、「心の危機」を起こします。長い闘いになります。世の中を俯瞰してみると、未曾有の世界経済危機と地政学的リスクの状況が垣間見られます。当初私が予想したように2024年までは、日常は戻らないと思います。ワクチンという武器でWITH コロナ政策を推進する西側諸国と徹底した隔離作戦、19世紀の物理学者のライプニッツ理論をとる中国、まったく対象的ですね。ライ

プニッツ時代とちがいは今はグローバル社会です。一国の隔離政策には限界があります。鎖国政策はウイルスには通じません。鎖国の江戸時代にフランシスコ・ザビエルが梅毒を持ち込んだように。

ロシアによるウクライナ侵略

企業家やビジネスマンは平和を愛さなければいけません。そして、自由と民主主義と法の支配をその信条にしなければいけません。そのうえでプラグマティズムな行動をしなくては世界の発展はありません。ロシアのウクライナ侵略は、プーチンの許されざる暴挙です。渋沢栄一が生きていたらロシアに乗り込んでいたとおもいますよ！

ファシズムとは、指導者の言葉に大衆が熱狂する状況をいいます。ポピュリズムとは、指導者が大衆の言葉しか語らなくなってしまう状況をいいます。官僚主義とは、法律それ自体を仏神化する状況をいいます。全体主義とは、法律を単なるイデオロギーの手段にする状況をいいます。ロシアによるウクライナ侵略の背景には、ユーラシア大陸の歴史的な宗教観があります。また、ロシアの歴史があります。さらにその背景にはキリスト教の分断の歴

史とユダヤ教の流浪の歴史があります。カトリック、プロテスタント側とロシア正教、ギリシャ正教などの正教とその狭間で生き抜いてきたユダヤ教の宗教観が横たわっています。プーチンのより処は、ロシア正教です。まさに政教一致のロシア帝国の歴史観が彼をつき動かしています。この戦争はプーチンが失脚するまで続くでしょう。そうした中で、孔子、荀子、韓非子、孟子など処世の哲学をバックボーンに似非マルクス主義の中国や民主主義の危機に瀕しているアメリカなどの大国が「国益」という発想での対応が事態を複雑化させています。このことをキッシンジャーは、「国際政治のリアリズム」と言っています。そういった意味で、プーチンは、ロシア正教をバックボーンにした妄想に憑りつかれたファシストであり全体主義者です。許してはいけません。

民主主義の危機

第二次大戦後、我が国はアメリカから押し付けられた民主主義にしがみついています。民主主義は育てるものです。国民の努力なしには進化しません。民主主義は自由と人権と法の支配と寛容の精神に基づく自助努力を要求します。自由に意見を言い、人の意見に素直に耳を傾ける寛容の精神をもって議論する、こういった日常の生活態

経営の要諦

アップルの創業者スティーブ・ジョブスは、「経営はサイエンスとアートの交差点にある」という名言を残しました。私は、これに付け加えて「経営はサイエンスとアートとフィロソフィーの交差点にあり」と言っています。

経営者として、また経営コンサルタントとして、私が過去から現在に至るまで実践していることがあります。それは、ブアクト・ファイディングです。すなわち「事実」を見極めることでもあります。この事実の見極めが大変努力を要するものです。イスラエルの歴史学者であり哲

度なしには進化しません。現在は、西欧諸国にて排他的な極右の思想家が大きな力を得ています。彼らに足りないものは、まさに寛容の精神です。民主主義諸国の中でも危機が表れていいます。世界は、三極化しつつあります。西側諸国と独裁体制の中国やロシアとその連携諸国、そして中立的な国々と分断されつつあります。もとより資本主義は、自由主義と民主主義を前提とした経済システムです。自由主義のもとで最も機能します。そういった意味では、現在は資本主義・民主主義の機能不全という状況です。なにより、我が国を含め戦争という地政学的リスクの真つただ中にいますので。

学者であるユル・ノア・ハラリは、
事実には、客観的事実、主観的事実、共同主観的事実がある
といます。

政治・経済・社会・技術の分
析と予測、いわゆるPEST分
析に基づく、個別企業のファク
ト・ファインディングを通じたた
ゆまぬ経営改革こそ経営の要
諦です。言い換えると、経済・社
会の時代の潮流を読み解き、
ファクト・ファインディングに基
づいたクリエイティブティを発揮
することが経営の要諦です。私
は経営者として企業経営を行
う中で絶えず意識し、実践して
まいりました。ファクト・ファ
インディングなしには今お話しし
た経営改革の実現はありません。

させるであろう、全ての学問や
芸術による「知識や感性」の凝
縮にかかっています。人間と社
会、そのものに対する問いかけ
です。そのために必須のことは、
クリエイティブな「知」の追求を
目的として、企業全体で「学習・
実践・学習・実践」を繰り返す
ことにより、経営をポジティブ・
スパイラルへと昇華させること
です。それは人生100年時代
に生きる我々人間にとつても必
須のことです。

ビジネスも人生もすべては、
トライ&エラーの中でエラーを
修正しながらポジティブ・スパ
イラルを創り上げることです。
その「学習・実践・学習・実践」
に必要なことは、一つには、調
査・研究、一つには、学習・訓
練、一つには、協力・協業、これ
らを、三本柱とする精神の醸成
にあります。

**我々が追求すべき事実を見
極める「知」とは何か**

2002に行動経済学が評
価され、ノーベル経済学賞を受
賞したプリンストン大学名誉教
授であり、認知心理学者である
ダニエル・カーネマンは、「自らの
無知を認識した時に学習効果が
最も上がる」と言っています。
同じようなことを、孔子も
ソクラテスも言っています。論語
の為政編十七に孔子が孔門十
哲の一人である子路に語ってい

ます。

子曰く「由(ゆう)や、汝(な
んじ)のこれを知ること、を訓え
んか(おしえんか)。」

これを知るを「これを知る
と為し、知らざるを知らざると
為す、これ知る為り」

孔子は弟子の子路にこう言い
ました。「子路に、あなたにこれ
を知るといふことはどのような
ことなのか教えますよ。」

自分が知っていることを知って
いると認識し、知らないことを
知らないことを認識する。これが物
事に対して「知る」ということ
です。」

紀元前5世紀の人、孔子(紀
元前551年〜479年)とほ
ぼ同時代のギリシャの哲学者ソ
クラテスも「無知の知」という
言葉でこう言っています。

「人は無知である自分に気づ
いたとき、自己満足することな
く、真の知に近づこうとする努
力が始まる。こうして人は単な
る生き物ではなく、よりよき人
間として生きるのである。」

とソクラテスは言っています。ダニ
エル・カーネマンの言葉は、こち
らに近いと思います。人間は、ア
リストテレスの言うように「社
会的生き物」であり、デカルトの
言うように、「考えるゆえに我
あり」の存在です。より良く生
きることを楽しむための「知

の追求です。

**人生100年時代の生き方
と混沌とした時代の生き方に
ついて。**

現代は、リスクが山積み
の状態です。リスクを明確に認識し
ましょう。リスクとは、語源は「勇
気をもって試みること」です。

1920年代のアメリカのシカ
ゴ学派の総帥のフランクナイト
の「不確実性」区分によれば、
確実性・何が起るか確定的に
分かっている状態。リスク・何が
起るか確定的には分からない
が、起り得る状態はわかっ
り、かつその確率分布が分かっ
ている場合。不確実性・起りう
る状態はわかっているが、その確
率分布が分かっている場合を
いう。無知・何が起るか、その
ような状態で起りうるか、全
く予見できない場合をいう。

広義の不確実性とは、リスク
と不確実性の両者を指します。
ロンドン・スクール・オブ・ビジネ
スのリンダ・グラットンとアンド
リュー・スコットは「ライフシフト」
という著書の中で、生まれてか
らの人生を教育・仕事・退職の
単線的な人生からマルチ・ステ
ージ人生を推奨しています。

先ほど話したリスク認識をし
たうえで、その中で、大切なこと
は健康寿命とマルチステージを
生き抜く、三つの無形資産を示
しています。

生産性資産・仕事に役立つ知

識やスキル。
活力資産・健康や良好な家族・
友人関係。

変身資産・変化に応じて自分
を変えていく力のことです。

人生100年時代と言っ
ても、あなたの生涯の時間の三分
の一は「寝ている時間」です。ス
タンフォード大学睡眠生体リズ
ム研究所の西野清治所長は言っ
ています。夜な夜な訪れる人生
の三分の一の時間が、残りの三
分の二を決めるのです。そして
良い睡眠は、神様がくれた「最
高の贈り物」であると言っていま
す。その睡眠効果は、五つあり
ます。①脳と体に休息を与え
る ②記憶を整理して定着
させる ③ホルモンバラン
スを調整する ④「免疫力」
を上げて病気を遠ざける

⑤「脳の老廃物」をとる

こう考えると、寝ている三分
の一の時間の大切さが分かり
ます、同時に起きている時間の
大切さが分かります。まさにタ
イムイズマネーです。

結論としては、時間を大切に
する。学習する。楽しく生きる
ことをモットーに、人生のマルチ
ステージの生産性資産、活力資
産、変身資産を身に着ける。そ
のためには、笑う門には福来る
の精神が最も重要です。

さあ皆さん大いに笑いましょ
う！

例会報告

第2711回 ● 2022.12.16 (金)

◇司会 安田新会場監督補佐



司会
安田新会場監督補佐

◇開会点鐘 関 和之会長

◇Rンク それでこそロータリー

◇お客様の紹介

元りそなホールディングス社長

川田憲治様

◇食事と交歓 和食

◇出席報告

鈴木重春 出席副委員長



出席報告
鈴木重春
出席副委員長

会員106名中61名出席。
出席率61・62%。前々回12月2日の出席率67・34%のところに75・51%に修正します。

◇ニコニコ発表

角田昌己 財務副委員長



ニコニコ発表
角田財務副委員長

◇会長挨拶 関和之会長



会長挨拶
関和之会長

*首の辺りが痛くて回りません。昨日ポーナスを支給したからかもしれません。

*今年8月の青森県津軽地方

豪雨災害支援金として、9月に

予納金の中から一人当たり

5000円を支出したしました

たところ、国際ロータリー第

2830地区のガバナーより

お礼と報告が届きました。支

援金総額は48330000

円になり、青森県災害本部へ

30000万円、つがるRCを

通してつがる市へ2500万円、

鱈ヶ沢RCを通して鱈ヶ沢町

と深浦町へ併せて550万

円、五所川原RCを通して五

所川原町と中泊町へ併せて

400万円、青森モーニングRC

を通して外ヶ浜町へ303

万円、鶴田町へ330万円を

それぞれ贈呈したそうです。

皆さま方のご支援とご協力

に深く感謝を申しあげると

のことでした。どうもありが

とうございました。

*本日の川田様の卓話を楽しま

にしております。よろしくお

願いいたします。

◇幹事報告 榊田義久幹事



幹事報告
榊田義久幹事

*来週12/23の年忘れ家族例

会は5階「翔王」にて18:00

より開催いたします。会場は

5階ですがロータリーの控

室は4階「みずき」ですので、

よろしく願っています。

*来年1月の例会予定表は、来

週メール及びFAXで配信い

たします。

*先週もお伝えしましたが事務

局の年末年始休暇は12/27

（1/5）です。お急ぎのご連

絡は幹事までお願いいたします。

*本日メールボックスへウィーク

リー10号を配付いたしました

ので、確認をお願いいたします。

◇スピーカー紹介

町田修一プログラム委員長

◇スピーカー

元りそなホールディングス

社長 川田憲治氏

テーマ「経済社会の潮流」



スピーカーへの謝礼贈呈

◇閉会点鐘 関和之会長



ニコニコボックス

●2022.12.16 (金)

◇関会長・本日は、川田憲治様

の卓話楽しみにしています。

よろしくお願ひ致します。

◇上田・結婚記念日のお花あ

りがとうございました。

◇町田・川田様の卓話楽しみ

です。

神辺丸出航準備へ

次年度
第58代会長

理事会にて次年度理事・役員が決定し、12月2日（金）例会終了後の年次総会にて承認されました。神辺丸が半年後の出航に向けていよいよ準備開始です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



2023-24年度 東京八王子西ロータリークラブ理事・役員

役員

会長 神辺 和幸

直前会長 関 和之

副会長 山口 寛

会計 石森 浩元

幹事 市川 隆

会場監督 池田 勝

理事

副幹事 福田 邦人

塩野 明

職業奉仕委員長 秋間 勝仁

社会奉仕委員長 相川 博

国際奉仕委員長 立花 探

新世代委員長 滝島 徳久

プログラム委員長 田村 肇

親睦・家族委員長 加藤 直也

広報委員長 末木 博



年忘れ家族例会



2022年12月23日(金)

場所：京王プラザホテル八王子 翔王



例会報告

第2712回●2022・12・23(金)

◇司会 橋本孝会場監督補佐



司会
橋本会場監督補佐

◇開会点鐘 関 和之会長

◇Rソング 奉仕の理想

◇お客様のご紹介

石井会員令夫人 静 子様

馬場榮次会員 令夫人 明 美様

お嬢様 山本 芳美様

お孫様 山本来瑠美様

塚本会員令夫人 繁 子様

森会員令夫人 文 子様

三浦会員令夫人 道 子様

野口会員令夫人 布 子様

金子会員令夫人 美智子様

大田会員令夫人 明 子様

山口会員令夫人 惠美子様

伊藤会員令夫人 彩 子様

令嬢 伶彩ちゃん

令嬢 渚奈ちゃん

令嬢 鈴奈ちゃん

令嬢 花奈ちゃん

高橋会員 御子息 耀司君

小林潔正会員 令夫人 里 花様

横山会員令夫人 奈緒美様

令嬢 惺奈ちゃん

令嬢 仁華ちゃん

御子息 智 希君

森崎会員令夫人 弘 子様

儀間会員令夫人 眞 美様

令嬢 美羽ちゃん

小松会員 御子息 政虎君

米山奨学生 ハデイルさん

関会長令夫人 安基子様

◇食事と交歓 和食

◇出席報告

岡本信之出席委員長



出席報告
岡本出席委員長

会員106名中71名出席。

出席率71・00%。前々回12月

9日の出席率68・69%のところ

77・78%に修正します。

◇ニコニコ発表

西川誠治財務委員



ニコニコ発表
西川財務委員

◇会長挨拶 関和之会長



会長挨拶
関和之会長



関和之会長

末なのでカップ麺を20ケースとお菓子を14ケース寄付しました。

*フードバンク八王子の國本さんのお話ですと、生活が困窮してくると一番最初にカットされるのはお菓子だそうです。ある日お菓子を分ける為に箱詰めしているのを見ていたお子さんが「お母さん、あの箱が早くうちに届くといひね」と言っていたそうです。そういうエピソードを聞いてとても嬉しかったです。

*また来年も元氣にお顔を合せられるとありがたいです。

◇幹事報告 榊田義久幹事

榊田義久幹事

◇委員報告

相川 博職業奉仕委員長

◇奨学金贈呈と近況報告

米山奨学生

◇閉会点鐘 関和之会長

*来月の例会予定を昨日メール及びFAXにて配信いたしました。

*来年1/6(金)は特別休会です。メイクアップ用紙のご用意はございません。

*新春初例会は1/13(金)12:30より開催いたします。アルコールのご提供があるので各自ご判断のほどお願いいたします。

◇委員会報告

相川 博職業奉仕委員長

◇奨学金贈呈と近況報告

米山奨学生

◇閉会点鐘 関和之会長



ニコニコボックス

2022.12.23(金)

- ◆ 関会長・スタートして半年。みなさまありがとうございました。本日は、親睦委員会の皆様より、誠にありがとうございます。
- ◆ 安藤謙治
- ◆ 石井昭久
- ◆ 田辺・今年皆様には大変お世話になりました。良い年をお迎えください。
- ◆ 三浦・親睦委員会の皆様、お世話になります。
- ◆ 金子・親睦の皆様、お世話になります。
- ◆ 相川、宮沢、野口・一年間お世話になりました。
- ◆ 馬場榮次、倉田、大石創元・親睦のみなさん、ご苦労様です。
- ◆ 山口・メリークリスマス。楽しい週末を。
- ◆ 櫻崎・所用により出席できません。残念です。
- ◆ 塚本・関会長、榊田幹事、半期が終わります。気を抜かず頑張ってください！
- ◆ 本日は親睦委員会の皆様、ご苦労様です。
- ◆ 福山・会長・幹事・役員の皆様さん半分ご苦労様でした。後半分頑張ってください。
- ◆ 高橋・本日は息子も出席させていただきます。よろしくお願ひします。
- ◆ 橋本・メリークリスマス。一年間ブラボー。



- ◇三村、神辺、福田、秋間・今年もお世話になりました。
 - ◇鈴木重春・お世話になりました。
 - ◇杉本・メリークリスマス
 - ◇大田・親睦のみなさん有難う御座います。
 - ◇西川、長尾、伊藤、浅川・今年も一年お世話になりました。
 - ◇儀間・今日は家族3名でよろしくお願ひします。
 - ◇小松・息子がお世話になります。一年間お疲れ様です。
 - ◇町田、平沼・二年間ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。
 - ◇立花・年忘れ家族例会にご参加ありがとうございました。
- (順不同・会員敬称略)

寄附贈呈式

令和4年(2022年)12月22日 会場：八王子市役所 市長公室 所管課：八王子市福祉部生活自立支援課



フードバンク
TAMA
理事長
神山治之 様



フードバンク
八王子えがお
事務局長
三浦すみえ 様



フードバンク
八王子
代表理事
國本康浩 様

東京八王子西ロータリークラブは本年度、八王子市を通して八王子市内のフードバンク3団体に、お米を240kgづつ合計720kgを寄付いたしました。さらに(年末に向け)カップ麺20ケース、お菓子14箱(段ボール)と一緒に寄付いたしました。

12月22日八王子市長公室にて、市長に目録をお渡しし、市長からは感謝状を頂きました。お米は、相川委員長の計らいで3団体がそれぞれ必要な時期に必要な量を直接お届けし、3月ころまでには720kg全て配り終わります。また、当日持参しましたカップ麺とお菓자에付いても、3団体から喜ばれ、子供を笑顔にさせるお菓子は貴重品だと言われました。

我々の行える事は、まだまだ小さな事ですが少しでも喜ばれる方がいらしゃればよかったですと思います。

会長 関 和之



東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<https://www.hachioji-west-rc.org>



会長 関 和之 幹事 榎田義久 広報委員会 浅川立憲 原 巖 原 啓一郎 末木 博 諸星宗幸 小林潔正 船江栄次



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org